



2020年5月26日

各 位

会社名 武蔵野興業株式会社
代表者名 代表取締役社長 河野 義勝
(コード番号 9635 東証第二部)
問合せ先 執行役員経理部長 山崎 雄司
(TEL 03-3352-1439)

特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

当社は、2020年3月期（連結・個別）において、下記の通り、特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しを行うことといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 関係会社株式評価損の計上（連結）

当社連結子会社がフィリピンにおいて出資している合弁会社の状況を精査した結果、現時点において投資額回収の可能性が認められないとの判断から、関係会社株式評価損 35 百万円を計上する見込みとなりました。

2. 繰延税金資産の取崩し（連結・個別）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を鑑み、当社グループの繰延税金資産の回収可能性について、あらためて精査した結果、当期末において、主として提出会社の繰延税金資産を全額取り崩すこととし、連結において 26 百万円、個別において 27 百万円を法人税等調整額に計上する見込みとなりました。

3. 貸倒引当金繰入額の計上（個別）

当社連結子会社である武蔵野エンタテインメント株式会社の事業計画および財務内容の見直しを行い、同社への貸付金につきまして、新たに 59 百万円を貸倒引当金繰入額として計上することといたしました。一方、当社連結子会社である自由ヶ丘土地興業株式会社につきましては、その財務内容が改善してきたことに伴い、47 百万円の貸倒引当金を戻入することといたしました。

従いまして、個別損益計算書におきましては、当該貸倒引当金繰入額と当該貸倒引当金戻入額を相殺し、特別損失として、貸倒引当金繰入額 12 百万円を計上する見込みとなりました。

4. 今後の見通し

本日、併せて適時開示資料「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますので、詳しくは当該資料をご参照ください。なお、「3. 貸倒引当金繰入額の計上（個別）」は当社連結子会社に対するものであり、連結決算において相殺消去されるため、連結業績への影響はありません。

以 上